

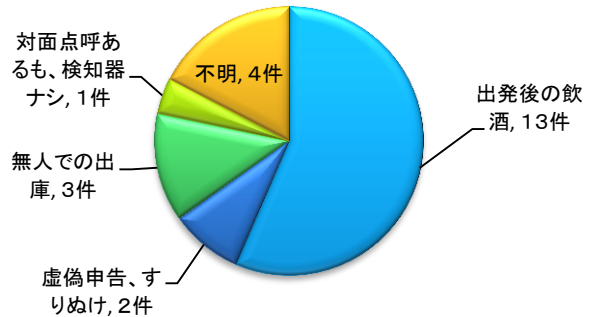
東海電子より、アルコール検知器業界情報や弊社情報、国内外の飲酒運転対策等、最新情報を月刊にてお届け致します。

発行元: 東海電子(株)
発行日: 2012年4月3日

Topic 1 23件！ アルコール検知器義務化以後の、酒気帯びプロドライバー事故例

2011年5月1日からアルコール検知器の義務化が施行されましたが、以後9ヶ月間で、23件の酒気帯び事例が報告されています。

報告例によると、13件が、「出発後」であり、点呼でいくらチェックしても防げないケースであることが判明しています。また、検挙時に0.4mg/L以上あるなど、明らかに故意で運転している事例も見られ事業者が従業員を「常時」チェックすることの限界について考えさせられます。



Topic 2 新製品コーナー マイカー通勤者の飲酒運転をゼロに。



「ピコ」と呼んでください！
携帯型のアルコール検知器「ALC-Pico」
4月1日 新発売

みなさんの会社では、マイカー通勤しているドライバーは、何人いますか？ ALC-Picoは、ドライバーの通勤前のセルフチェック用、または出先へ持ち出せるハンディタイプの小型アルコール検知器です。マウスピースをつかった吹き込み測定と、マウスピースを使吹きかけモードを選択できます。センサー部には、燃料電池式センサー（電気化学式）を搭載し、タバコや体質などによる誤反応が無く、また耐久性に優れた製品です。設置型や記録式のアルコール検知器が故障した場合や、停電時等、バックアップの予備マシンとしても最適です。



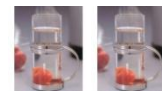
お役立ち情報～ アルコールの量とは？

アルコール飲料の摂取量を聞くと、「何杯？」という聞き方をしている点呼は、間違いです。なぜなら・・・



ビールを中ジョッキ(500ml)で「3杯」飲みました
(アルコール度数5%)

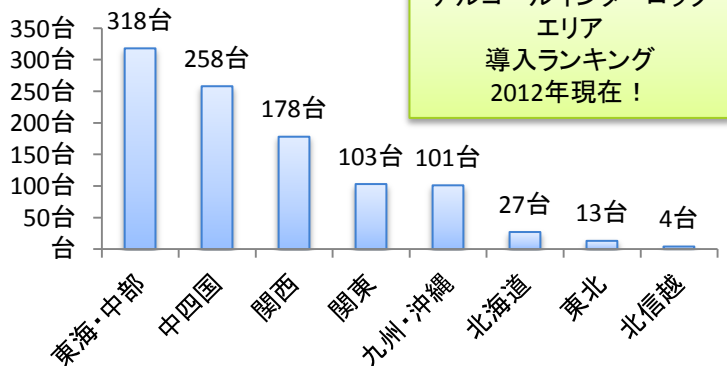
アルコール摂取量が多いのは、どちらでしょう？
(正解は裏面で！)



焼酎のお湯割り(300ml)を「2杯」飲みました
(度数25% お湯100ml、焼酎200mlの割合)

Topic 3 新着 日本のアルコールインターロック搭載車両

発売から約2年半、アルコールインターロック搭載車は、いま日本で1,000台以上走っています。今後も普及は進む見通しであり、東海電子では、年内に3,000台を目指したいと考えています。



アルコールインターロックエリア
導入ランキング
2012年現在！

輸送安全規則	項番	違反行為の内容	点呼未実施率	運管1/3ルール	初回	再違反
7条	1項 2項 3項	1)乗務「前」点呼 2)乗務「後」点呼 3)中間点呼	20%未満	1/3以上 1/3未満	警告 10日車	20日車 30日車
			20%以上50%未満	1/3以上 1/3未満	10日車 20日車	30日車 60日車
			50%以上	1/3以上 1/3未満	20日車 30日車	60日車 90日車
	4項	アルコール検知器備え 義務違反 常時有効性保持 義務違反			60日車 20日車	180日車 60日車
	5項	点呼の記録違反(記録なし率)	20%未満		警告	20日車
			20%以上50%未満		10日車	30日車
			50%以上		20日車	60日車
		点呼の記録違反(記載事項不備率)	20%以上50%未満		警告	10日車
			50%以上		10日車	30日車
			5件以下		10日車	30日車
	点呼の記録違反(記録改ざん、不实記載)	6件以上		20日車	60日車	
		20%未満		警告	20日車	
20%以上50%未満			10日車	30日車		
点呼の記録違反(記録保存なし率)	50%以上		20日車	60日車		

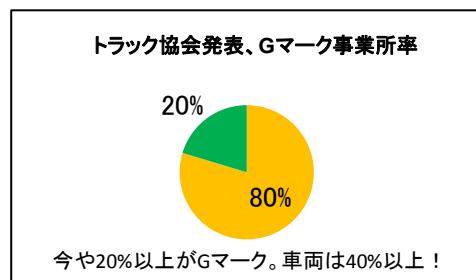
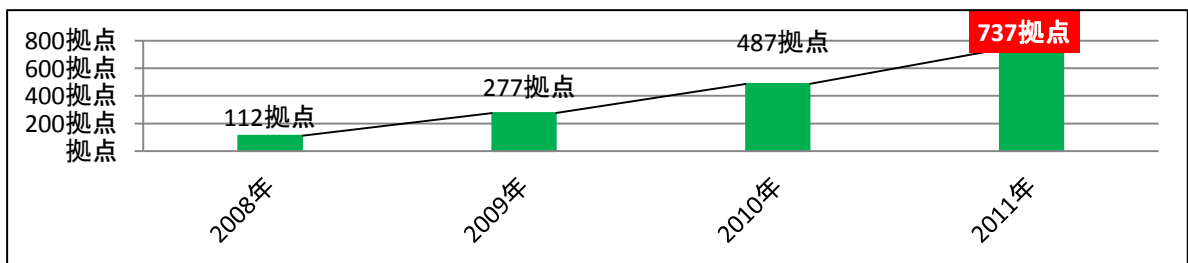
H23年5月1日から、アルコール検知器の義務化条項が加わり、行政処分の基準も変わりました。検知器関連の違反は、点呼を5割やっていないよりも重大な処分が科されており、点呼のなかでは一番重い違反となっております、国土交通省プラン2009実現への意思の表れが見えます。



海外にも、バス、タクシー、トラック、鉄道など、公共交通機関は存在します。台湾では、2010年から、バス事業者に対して、アルコール検知器の使用と体温計の使用を義務付けています。今回購入いただいたお客様は、台湾のとあるトラック会社です。荷主の要請が厳しく、導入にいたったそうです。
東海電子 中国語(繁体)のHP↓もあります。
<http://www.tokai-denshi.com/tw/>

検知器の義務化	日本	台湾
バス	2011年5月	2010年4月
タクシー	2011年5月	未
トラック	2011年5月	未

2007年3月、IT点呼が施行されてから、4年が経過しました。昨年、プラン2009に基づき、車庫と営業所間でのIT点呼が可能となり、連続時間も16時間に延長されるなど、規制緩和がつつぎと進んでいます。全日本トラック協会の2月の情報によれば、日本におけるトラック事業所のうちGマーク取得事業所は17,000社以上、また車両では40%以上がGマーク取得事業所のトラックと報じられています。
東海電子のIT点呼は、2008年の発売から4年間、130社あまり、700を超えるIT点呼システムを提供しています。



◆アルコールの量とは？ 回答◆ アルコールの量は<容量×度数×0.8>で純アルコール量が求められます。ビールは「1500ml×5%×0.8=60g」焼酎は「200ml×2杯(お湯とは関係なく)×25%×0.8=80g」。つまり、焼酎2杯の方が、体内に入る純アルコール量が多いのです。

【編集後記】2011年5月から、アルコール検知器は運輸業界においてなくてはならない機器として位置づけられました。当社では、数少ないアルコール検知器メーカーの責務として、国内外の業界の最新情報を毎月お届けしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。